

自分の健康に寄り添ってくれるかかりつけ医はいますか？

みなさんには、「かかりつけ医」がいますか？

かかりつけ医とは、病気や体調のことを気軽に相談できる医師のことです。かかりつけ医が身近にいることで、日常生活における健康の相談から、傷病や体調不良での受診、通院等、どの世代にとっても健康をサポートしてくれる頼もしい存在です。また、日頃の皆様の健康状態や病歴、治療歴をかかりつけ医が把握していることで、病気の予防や早期発見、治療に結びつくこともあります。症状によって的確な判断をし、専門家への紹介もスムーズで安心、安全な医療を届けるため、必死に患者様と向き合っています。

現在では地方の地域医療に限らず、全国で身近にかかりつけ医を持つことを厚生労働省は推奨しています。急な体調不良で、紹介状なしに総合病院などを受診すると、病歴や治療歴がない場合は検査が多くなったり、選定療養費※を支払ったりと診察や治療費に大きな負担が生じることもあります。

この機会に自分自身が信頼できる身近な「かかりつけ医」を見つけてみませんか？

※選定療養費：紹介状なしで200床以上の病院にかかる場合に徴収される特別の料金

株式会社ノベルズ最上 正社員募集

勤務地 横川地区的肉牛牧場

仕事内容 和牛の飼養管理全般

待遇 (1年目) 賞与年2回
月給21~25万円
社会保険完備

勤務時間 7:00~17:30 (休憩1h、実働9.5h)

休日 4週7休制

オンライン会社説明会を定期開催中

北海道・十勝地方を拠点に肉牛・酪農・食品事業を展開
ノベルズグループ 帯広本社 (人事部・採用担当 / 池田)

0155-67-7501 ノベルズ採用 検索

〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目23番地 帯広経済センタービル西館7階

「車いすのまま乗車できる」 レンタカーあります！

- 乗車定員6名（車いすも無料貸出中）
- 特別価格にて貸出中（4時間4,000円より～）
- ※貸出には予約が必要です。
まずはご来店、またはお電話ください。

(有)オートランドカネダ (☎46-2530) 志茂206-1



最上病院薬剤師コラム

「骨粗しょう症の予防と治療薬」



ドミノ骨折には注意が必要

主に骨折を起こしやすい部位は背中、足の付け根、手首、肩の付け根が多く、尻もちなどちょっとしたことで起こることもあります。背骨では圧迫骨折が起こりやすく、痛みが少なく気が付かないうちに起こることもあるようです。そして、一度骨折すると次の骨折を引き起こすドミノ骨折（骨折連鎖）になります。この場合、身長が低くなったり背中が丸くなったりします。また、同じ部位だけでなく、背中の骨折から足の付け根など、別の場所へも連鎖的に起こることが多く、こういった骨折の連鎖を防ぐためにも、初めの骨折を起こさないことが重要になります。

発症しやすい方

●高齢者 ●閉経後の女性（骨密度を保つホルモンが減少する）

骨の状態確認

治療の第一歩目は骨の状態を把握することです。骨粗しょう症の疑いがあれば、病院では検査を行ないます。腰や背中に痛みを感じる人など気になる方は、いつた機器を用いて、骨の内部の状態や密度を確認することが出来ます。骨粗しょう症の疑いがなくとも、現在の状態を把握したい場合は、健康診断などで検査することもできます。検査は骨密度測定装置と

治療薬について

治療薬を使う目的は骨折を防ぐことです。骨は常に古い骨を壊す作用と、新しい骨を作る作用が繰り返されています。また、加齢や閉経後などでこのバランスが崩れ、骨が弱くなっていくことがあります。薬にはこういった作用を防ぐ様々な薬品があります。骨粗しょう症は症状がなくとも、十分な量の水で服用し、30分間は横にならないようになります。一方、間隔が空くことがあります。一方、間隔が空くことでの飲み忘れには注意が必要です。また、食道炎や潰瘍のリスクがあるため十分な量の水で服用が大変な場合は、週に1回や、月に1回服用するタイプもあります。近年、投与間隔の長い注射剤が新たに登場しました。半年に1回の注射や、1年に1回の点滴で済むタイプもあり、内服が合わない方、要介護や認知症の方にいる方、要介護や認知症の方に合わない方、薬を多く服用しても骨の数値では変化に気付きにくく、そのため服用をはじめても1年後には患者さんの約5割が、処置できません。薬を服用しても骨が出づらく骨の強度なども実感できません。薬を服用しても骨の強度が心配な方は、かかりつけ医にご相談ください。早期発見で対応できることも多く、状態や必要に応じての治療や適切な医療機関等もご紹介することができます。



●過度のダイエットをした人（20歳代で骨量がピークになりますが、この時期に骨量が十分な量に達していない場合）
●運動不足 ●喫煙者 ●過度の飲酒 ●糖尿病や慢性腎臓病と娘（）がある人 ●長くステロイド薬を服用している方、など。

あります。「骨を壊す働きを抑えられる薬」として、ビスホスホネート、デノスマブ、SERM（セーム）、甲状腺ホルモン薬、また「両方ND3などがあります。よく処理されるビスホスホネートですが、飲み方に注意が必要があります。まず、飲食物の影響で吸収力が低下するので、朝起きてすぐに服用し、その後30分間以上、水以外の飲食を避けます。

また、食道炎や潰瘍のリスクがあるため十分な量の水で服用が大変な場合は、週に1回や、月に1回服用するタイプもあります。まず、飲食物の影響で吸収力が低下するので、朝起きてすぐに服用し、その後30分間以上、水以外の飲食を避けます。また、骨粗しょう症の薬は長く服用することで効果を発揮します。通常でも加齢に伴い、骨の強度は低下してくるのが自然です。動といつた日々の生活習慣に気配つていくことも必要になります。